



平成 26 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 小 林 武 司  
(コード番号 2538 東証第二部)  
問 合 せ 先 執行役員 財務計画部長 柚 義 継  
(電話番号 06-6444-5293)

### 孫会社株式の譲渡に伴う特別利益並びに業績見通しに関するお知らせ

当社の完全子会社である盛田株式会社は、平成 26 年 8 月 6 日開催の取締役会において、同社の完全子会社（当社孫会社）である白龍酒造株式会社の全ての発行済株式を株式会社ウエストに譲渡することを決議し、平成 26 年 8 月 20 日に実行いたしました。当社も平成 26 年 8 月 8 日開催の取締役会で決議いたしました。この孫会社株式譲渡に伴い連結会計上、特別利益が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 譲渡の理由

白龍酒造株式会社（以下「白龍酒造」とする）は、新潟県において清酒醸造を天保 10 年（1839 年）より営んできた伝統ある酒蔵です。同社は「日本の伝統的な食文化の継承」という当社グループの創業理念に共感し、平成 20 年 11 月にメンバー企業に加わりました。以降、当社グループは白龍酒造へ経営指導やシステム、財務などの様々な支援を行いました。一方、白龍酒造は生産面において更なる品質の向上を追求し、また、グループ内清酒醸造事業との連携によって大幅なコストダウンを行い、当社の企業価値の向上に寄与いたしました。また、白龍酒造は、当社の支援と白龍酒造自身の経営努力によって財務状態が健全化し、業績も堅調に推移いたしました。

そのような中、この度、白龍酒造の創業家から地域の有力な企業と資本関係をもって社業を推進したいと申し出がありました。当初より再建後に創業家から事業譲渡等の申し入れがあった場合は、前向きに検討する約束になっており、慎重に協議した結果、全ての発行済株式を譲渡するという結論に達しました。尚、今後も当社グループは、白龍酒造との協力関係を継続して参ります。

##### 2. 譲渡する孫会社の概要（平成 26 年 7 月 31 日現在）

(1) 商号	白龍酒造株式会社	
(2) 所在地	新潟県阿賀野市岡山町 3 番 7 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小林 武司	
(4) 事業内容	日本酒の製造・販売	
(5) 資本金	55.5 百万円	
(6) 設立年月日	平成 19 年 11 月 14 日	
(7) 大株主および持株比率	盛田株式会社 100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社は同社株式の 100%を間接保有しております。
	人的関係	当社役員 1 名が同社代表取締役に就任しております。
	取引関係	該当事項はありません。

(単位：千円)

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成23年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
純資産	△7,371	307	3,546
総資産	460,661	470,060	495,935
売上高	357,613	418,930	439,630
営業利益	9,157	13,351	17,234
経常利益	2,845	6,715	8,701
当期純利益	3,399	7,679	3,238

### 3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 商号	株式会社ウエスト		
(2) 所在地	新潟市中央区山二ツ521-1		
(3) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。	

### 4. 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 譲渡前の所有株式数	2,020株 (所有割合100%)
(2) 譲渡株式数	2,020株
(3) 譲渡価格	288百万円
(4) 譲渡後の所有株式数	0株 (所有割合0%)

### 5. 連結業績に与える影響

本件株式譲渡の実施に伴い、平成26年9月期に特別利益として関係会社株式売却益171百万円が発生いたしました。なお、平成26年8月8日に開示いたしました「平成26年9月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に特別利益は織り込んでおりません。

また、平成26年8月8日に業績予想の修正につきまして開示をしておりますが、最近の業績動向で売上高は若干の未達であり、原材料及び輸入仕入商品価格の高騰等の影響により、営業利益、経常利益については一定の下方修正が必要な状況です。しかし、今回の特別利益の計上によって、当期純利益ベースでは大きな乖離は生じない見込みです。なお、新たな業績予想値に関しては、他の要因も含めて精査中ですので、算出が出来次第お知らせいたします。

以上